

## ラオ語の情報構造と名詞述語文調査例文

鈴木 玲子

## 1. はじめに

ラオ語の情報構造と名詞述語文について、調査シートに従って以下に言語データを示す。インフォーマントは、シースター・ホーラーヌパープ氏(女性)。1995年、ラオスの首都ビエンチャンに生まれ、同地で育った後、2015年10月より日本に在住している。

ラオ語文中の( )は、( )の語彙があってもなくても意味は同じ、ということを示す。〈 〉はない方がよい、という意味である。また、日本語に対応するラオ語語彙が複数ある場合は{.../.../...}とし、どの語彙を使ってもよい、ということを示す。ラオ語は個人差が著しい言語である。本データは、インフォーマントが日本語文に最も近く、自然でよく話す形であるとした文のみを挙げたが、構文が異なるラオ語文が複数個あり、いずれも使用許容度が同じである、という場合は文頭番号の後に a, b, c... を付す。また、日本語逐語訳の〈 〉は文法的機能を表す。日本語文頭の番号は、他言語と対照しやすいように、もとの調査シートと同じ番号を付しておく。音韻表記は鈴木(2006)に従う。

## 2. 例文調査

[1] (昨日の集まりに珍しくやって来た人についての会話で)

1) húi?, nõoy máa wǎa?

[えっ][ノイ][来る][～の]

「えっ、ノイが来たの？」

2) boo, boo meen nõoy. dǎen (máa).

〈否定辞〉〈否定辞〉[正しい][ノイ][デーン][来る]

「いや、ノイじゃなくてデーンが来たんだ。」

対比焦点である「デーン」に、特にそのこと示すマーカーはつかない。また、動詞「来る」はあってもなくても使用許容度は同じである。

[2] 3) meen phǎy máa?

[正しい][誰][来る]

「誰が来た？」

4) nôøy <máa> .  
[ノイ][来る]  
「ノイが来たよ。」

3)の WH 焦点である「誰」の前には、とりたて機能としての「mɛɛn」を置く。また、4)の WH 応答焦点である「ノイ」にはマーカ―は何もつかない。そしてその際、述語動詞の「来る」はない形の方がよい。

[3] (ノイとデーンの背について話している状況で)

5) nôøy jay kuwaa bɔɔ mɛɛn wǎa?  
[ノイ][大きい][より～]<否定辞>[正しい]<文末詞>  
「ノイの方が大きいんじゃないの？」

6) bɔɔ naʔ, bɔɔ mɛɛn nôøy, dɛɛŋ jay kuwaa.  
<否定辞><文末詞>, <否定辞>[正しい][ノイ][デー] [大きい][より～]  
「いや、ノイじゃなくて、デーの方が大きいんだよ。」

[4] [電話で]

7) míi nǎŋ bɔɔ ?  
[ある][何]<文末詞>  
「どうした (の) ?」

8) ʔəə, phóɔdii míi khèek máa  
[うん][ちょうど][ある][客][来る]  
「うん、今、お客さんが来たんだ。」

[5] 9) déknôøy nân tíi nôøy wǎa ?  
[子ども][あの][叩く][ノイ]<文末詞>  
「あの子供がノイを叩いたんだって!？」

10) bɔɔ naʔ, bɔɔ mɛɛn nôøy, dɛɛŋ (phún) náa.  
<否定辞><文末詞><否定辞>[正しい][ノイ][デー] [あの]<文末詞>  
「いや、ノイじゃなくて、デーを叩いたんだよ。」

10)では、対比焦点である「デー」の後ろにとりたて機能としての指示詞「phún」を入れてもよい。入れても入れなくても使用許容度は同じである。

[6] (目的語, 特に「どっち」という対比的な疑問語の場合)

11) *mii thǒŋ sǐ dǛɛŋ káp sǐ fāa, si? sǐuu tǔo dǎy?*

[ある][袋][色][赤い][と][色][青い] <未然>[買う]<類別詞>[どの]

「赤い袋と青い袋があるけど, どっちを買う?」

12) *<si? sǐuu thǒŋ> sǐ fāa*

<未然>[買う][袋][色][青い]

「青色(袋を買うよ).」

12)では, 対比焦点である「青色」のみを答える形が最もよい. 次に「青い袋」, 「青い袋を買うつもり」という順である.

[7] (例えば, 朝少し遅く起きて来たノイの父親が, 姿の見えないノイについて母親に尋ねている場面で)

13) *nǒy dǛe?*

[ノイ]<文末詞>

「ノイはどうした?」

14) *?òk pǎy sǎy bú?, tee sǎw phūn na?*

[出る][行く][どこ]<文末詞>[~から][朝][あの]<文末詞>

「朝からどっかへでかけたよ。」

14)のように述語焦点の場合, 主語は言わない.

[8] 15) *(dǛk nǒy nān) tǐi pǎy?*

[子ども][あの][叩く][誰]

「(あの子供は) 誰を叩いたの?」

16) *(tǐi) nǒy sǎy khǒŋ tǔo?Ǜɛŋ*

[叩く][弟][~の][自分]

「自分の弟を叩いたんだ。」

[7]と同様に, 疑問文に「あの子供」があっても 16)の回答文では不要である. 「叩く」はあってもなくても使用許容度は同じである.

[9] (例えば、電話の向こうで子供の泣き声がかきたのを聞いての発話)

17) mǐi pǎŋ bǎo?

[ある][何]<文末詞>

「どうした(の)?」

18) ʔǎə, nǒy tǐ nǒy sǎay (khǒŋ tǒʔɛɛŋ)

[うん][ノイ][叩く][弟][の][自分]

「うん、ノイが(自分の)弟を叩いたんだ。」

[8]は、「誰を」叩いたかに焦点があるので、WH 応答焦点では「弟」だけではなくて、「自分の」をつけて誰の弟かを明確に述べる必要があるが、[9]は、文全体に焦点があり、「弟」と言えば、常識的に考えてまず、自分の弟を指すので、誰の弟かを特に述べる必要はない。

[10] 19) khék nǎn dǛe?

[ケーキ][あの]<文末詞>

「あのケーキ、どうした?」

20) ʔǎo (ʔǎnnǎn) nǒy kǐn lǛew dé?

[ああ][あれ][ノイ][食べる]<完了><文末詞>

「ああ、(あれは)ノイが食べちゃったよ。」

20) では、目的語主題化の「ケーキ」は言わない。敢えて言う場合は、「ケーキ」の代わりに指示代名詞「あれ」を使う。

[11] 21) khǒy sǐtu máa tɛɛ hǎan mǐtuwǎannǐ mɛɛn pǐm nǐ

[私][買う][来る][から][店][昨日]<コンピュータ>[本][この]

「私が昨日お店から買って来たのはこの本だ。」

[12] 22) phǐu nǎn {pǎn/mɛɛn} ʔǎacǎan, hetwǐak yuu hóonhǎan nǐ sǎam pǐ lǛew

[人][あの]<コンピュータ>[先生][働く][で][学校][この][3][年]<完了>

「あの人は先生だ。この学校でもう3年働いている。」

ラオ語の名詞述語文「<名詞句1>は<名詞句2>だ」は、「<名詞句1>は<名詞句2>に属している」という場合は「pǎn」を、「<名詞句1>、即ち<名詞句2>のことである」という場合は「mɛɛn」を使う。また、例22)後半の「この学校で～」文では、「あの先生」は言わない。

- [13] 23) phoo khǒng láaw meen phuu nân  
 [父][の][彼]<コピュラ><類別詞>[あの]  
 「彼のお父さんは、あの人だ。」

[12]と異なり「pěn」は使えない。

- [14] 24) phuu nân {pěn/meen} phoo khǒng láaw  
 <類別詞>[あの]<コピュラ>[父][の][彼]  
 「あの人がお父さんだ。」

「pěn」「meen」のどちらを使用するかは、[12]で述べた話し手の発話意図に拠る。

- [15] 25a) mûuuhúuu hàn mǎaykhuwáam waa mûuu tɔɔpǎy khǒng mûuuʔuuum dáy  
 [あさって][その][意味である] <引用>[日][次][~の][明日] <文末詞>  
 25b) mûuuhúuu hàn mǎaythúuŋ mûuu tɔɔpǎy khǒng mûuuʔuuum dáy  
 [あさって][その][意味である][日][次][~の][明日] <文末詞>

「(~という)意味である」という動詞表現「mǎaykhuwáam waa」あるいは「mǎaythúuŋ」を使う。次のような名詞述語文を作って言えないこともない。

- 25c) mûuuhúuu hàn meen mûuu tɔɔpǎy khǒng mûuuʔuuum dáy  
 [あさって][その]<コピュラ>[日][次][~の][明日] <文末詞>  
 「あさってっていうのはね、あしたの次の日のことだよ。」

いずれの文も、「あさって」の後ろにとりたて機能の指示詞「hàn」を入れるという特徴がある。

- [16] (何人かで入った喫茶店で注文を聞かれて)  
 26) khòy ʔǎw kǎafée  
 [私][要る][コーヒー]  
 「私はコーヒーが要る。」

他動詞「ʔǎw (要る)」を使う。日本語ではウナギ文が使えるが、ラオ語では具体的な動詞を使わなければならない。

[17] (注文した数人分のお茶が運ばれて来て「どなたがコーヒーですか？」との問いに)

27) khòy

[私]

「(コーヒーは) 私だ。」

「私」という一語文が一番よい。次は[16]と同じ「khòy ?ăw kăafée (私はコーヒーが要る)」がよい。

[18] 28) púm may may năa năa hàn phéerj

[本][新しい][新しい][厚い][厚い][その][高い]

「その新しくて厚い本は高い。」

「新しくて厚い」が「本」を修飾していることを明確にするために、「新しい」「厚い」を各々2回繰り返す。一語のみでも後ろに「その」があるので、1つの名詞句の塊と解釈できるが、2回繰り返す形を好む。また、「その」は強めに言って、その後は少しポーズを置いてから述語の「高い」を述べる。

[19] [砂糖の入れ物を開けて]

29) ?ăaw, nâmtăan mót lêew

[あっ][砂糖][無い]<完了>

「あっ、砂糖が無くなっているよ！」

[20] 30) tǝnléerj khúuu waa cá? phop phăy nô, mēen phăy kó?,

[午後][はずだ]<引用><未然>[会う][誰]<文末詞><コピュラ>[誰]<文末詞>

?ôo mēen lêew ! nôoy dáy nô?

[あっ][そうだ]<完了>[ノイ]<文末詞><文末詞>

「午後、誰かに会うはずだったなあ。誰だったっけ。あっ、そうだ！ ノイだったな。」

[19]の意外性も [20]の思い出しもいずれも動詞句の最後にその場面に至ったという意味の「lêew」を置く。

#### 参考文献

鈴木玲子. 2006. 「ラオ語の名詞句」『東南アジア大陸部諸言語の名詞句構造』 pp.119-153. 東南アジア諸言語研究会編, 慶應義塾大学言語文化研究所